

3月15日は北区の日です。
軍都から平和都市北区への。



日本共産党区議員

2023. 3. 16. No. 1920.

御相見はるお禮に

TEL とも 3905-0970

FAX とも 3905-0970

さがらとしこ代表

赤羽北3-23-17

(バス停「赤羽北5丁目」より徒歩5分)

新年度一般会計予算の組み替えと提案

◎3月13日、日本共産党北区議員団9名と、新社会
党の福田光一議員は、組み替えを求める動議を、議会
運営委員会に提出。その取り扱いが、次のように決まら
れた。そのあと、各議員あてにその内容が発送されました。

◎3月20日(月)10時～議運が開かれ、本会議での運営に
ついてが決まります。

◎3月22日(水)10時～第1定例会 最終本会議の中で、
組み替え動議の提案理由説明を行います。
そのあと、討論がおこなわれ、採決となります。

提出の理由 長びくコロナウイルス感染症の影響や
物価高騰により、区民生活が逼迫していることに対
し、くらしを支援する緊急対策を講じるため、
財政調整調整基金40億円、まちづくり基金8億
円を活用した予算の組み替えを求めます。

7つの増額提案と、それを実現するために

- (1) 物価高騰対策臨時給付金 **45億円**
②※ 北区独自のものとなります。
- (2) 国民健康保険料の18歳まで均等割を
5割に減額する手当として **6,300万円**
②※ 新年度は1万円超す値上げに。
- (3) 高齢者などへの補聴器補助
制度として創設するために **6,900万円**
- (4) 高校生・大学生などの応援奨励金 **6,000万円**
- (5) 住宅困窮者などへの家賃補助制度 **4,400万円**
- (6) プレミアム付区内共通商品券の追加 **5,000万円**
- (7) 会計年度任用職員への勤勉手当引き上げ分の
支給 **1,400万円**

以上のように、あわせて**48億円の組み替え**
となっています。



3/15(水) 北区の区政功労者の式典
を終えて、飛鳥山へ。ヒカサクラははか。

秋山けんたろう

2023. 3. 15. レポート

※今回は、秋山さんの原稿を、さがらが手書き
してお届けしています。写真は、さがらです。

▶3・11 赤羽公園で行なわれた原発反
対集会は、ことして11回目。12年前のあの

原発事故は何が
あっても忘れるわけ
にはいきません。

▶170名の方が
赤羽駅周辺での
パレードに参加した。



<上の写真> パレードの先頭は
秋山さん(左から2人目)と、右には
やさしいおめがさ橋本やすこさん。

▶私も横断幕を持って、
「再稼働反対！」の声をあげ
ながら歩きました。

▶原発を再稼働させれば
12年前より大きな事故が
起きる可能性もあると、

浪江町から今も避難を
つづけておられる 門馬昌子
さんの体験を聞きながら思いました。

▶あらためて、「原発はNO！」の声を大きくし
なければいけないと実感した集会でした。未来を担う、子どもたちのためにも。

<右の写真>
門馬昌子さん

◎日本共産党国会議員団の追及で次々と明らかになっている「報復攻撃」を招く危険。

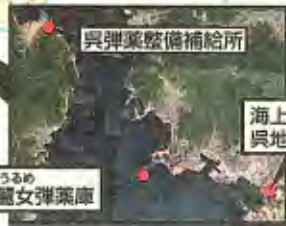
◎3/2参院予算委員会で小池晃議員が明らかにした防衛省の内部文書。全国283地区の中に十ヶ基地の名も。

全国に130棟！

スタンド・オフ・ミサイル=敵基地攻撃兵器の配備が狙われる弾薬庫

※本土の4カ所は23年度予算案に大型弾薬庫の建設、調査費を計上

◎この図は、ミサイルの保管場所。今後10年間で全国に130棟建設するというものです。



おおうるめ 大蔵女弾薬庫



陸上自衛隊石垣駐屯地
(手前の盛り土が弾薬庫)

これでは日本全土が戦場になりかねません。戦争準備ではなく、平和の準備に税金を使え。

2023.3.16. 「さがらレポート」 No.1920

戦争行き着く先は核使用

大軍拡で国を守るとはどういうことでしょうか。戦争で国を守るには、国の何を守るのでしょうか。

戦争に突き進むと誰にも止められず、すべてのものが準備に回されます。先の戦争で東京も大阪も名古屋も大きな都市はほとんど大空襲により破壊されました。沖縄は地上戦になりました。そして広

日本原水爆被害者団体協議会 代表委員

田中 熙巳さん



大軍拡 異議あり

2023.3.15. 「しんぶん赤旗」より

島、長崎への原爆投下です。戦争の行き着くところが核兵器の使用です。原爆は核兵器が開発される前との戦争は全く違うものになりました。ロシアがウクライナ侵略で核使用の威嚇を行っていることを見ても明らかです。

人類が核兵器をなくすの、人類が核兵器に滅ぼされるか、人類が核兵器に滅ぼされるのが問われています。私たちは頑張って核兵器禁止条約をつくりました。核兵器廃絶に向けた努力が各国で行われ、核兵器禁止条約の署名が92カ国、批准が68カ国へと広がっています。これが世界の流れです。

政治家がやらなければならぬのは、憲法に従って、日常的に戦争をしないような状況をつくることです。ことさらに危機をあおりながら大軍拡に突き進む政府にストップをかけるためには目をみはるような大きな行動を起こさなければなりません。被爆者として、かつて戦争を体験した者として、戦争と核兵器の使用につながるあらゆる動きに反対します。

(聞き手 加來恵子)

子や孫に 青年たちに 憲法にもとづく平和な日本を手渡さよう。